



2026年10月17日 第一礼拝メッセージ 菅原亘牧師
みことば:第一テサロニケ人への手紙 4章13節～18節
タイトル:世界の終末とキリスト再臨預言
サブタイトル「携挙・復活・再臨」

今日10月18日は私の82回目の誕生日です。ここまで来れたことを主に感謝します。また皆様方と共にこれたことも嬉しく思い感謝します。17歳の11月、エキシ・リチャーズ宣教のアパートで持たれていた英会話クラスに顔を出したことが今の私の始まりとなりました。「人生は出会いで決まる」と言う格言がありますが、まさに名言です。

献身生涯も50年目を目前にしています。すべては恵みです「主の良くして下さったことを何一つ忘れるな」であります。これからも皆様方と共にキリストの栄光を現わして参りましょう!

また明日19日からアリゾナ州フェニックスに行きます。北山牧師、坂本聖も一緒です。インパクトアジアと言う聖会に参加します。メッセージも1コマ語ります。日本語で語ればAIが同時通訳するそうです。今から楽しみです。24日土曜日午後3時前に関空に帰国します。なんか台風もそのころ接近中との予想もあるそうです。守られますようにお祈りくださいませ。

今日はキリスト再臨の預言の中に組み込まれている「携挙・ラプチャー(英語)」に関して聖書から学びましょう。キリスト再臨時に信仰者が携え挙げられる預言です。先のことですので信じて待つことにしましょう。

1・マタイによる福音書24章29節～44節。

天の果てから果てまで四方から選びの民を集めます。
ノアの日のような日である。天の父のほか誰もその日を知らない。
二人がいれば一人は取り去られ、ひとりは取り残される。

2・第一テサロニケ人への手紙4章13節～18節。

第一テサロニケ人への手紙3章13節。(ご自分の聖徒と共に再び来られる)
復活と携挙に関する啓示
創世記5章24節。(エノクは携挙のモデルか?)
イザヤ書57章1節～2節。(義人は災いから取り去られる)

- 3・復活や携挙に関する約束はあるが、具体的な情報量は限られている。
いくつかの聖句から類推するしかないなので、断言するのは誤った方向に信仰者を導くので要注意です。
ローマ人への手紙13章11節～14節。